

第13回アサン国際映画祭  
最優秀ドキュメンタリー賞

第34回ソウル  
インディペンデント映画祭  
観客賞

2009年サントダンス映画祭  
ワールドドキュメンタリー部門  
正式出品

第45回  
韓国首都館博覧会  
新人監督賞

その古いぼれ牛は、お爺さんと一緒に  
30年も働きつづけた。



위낭소리  
**牛の鈴音**

うしのすずおと 題字: 栗原文太

老いた農夫と一頭の牛の物語が、韓国映画界に(奇跡)をおこした。

ドキュメンタリー映画初 興行成績1位! インディペンデント映画初 興行成績1位! 2週連続(7~8週目)興行成績1位! 累計約300万人動員を記録!

Written, Edited and Directed by LEE Chung-ryoul | Production Studio Nurimbo | Producer GOH Young-jae | Cinematographer JI Jae-woo | Gaffer JOO Won-gyeong, LEE Il-hwa  
Composer HEO Hoon, MIN So-yun | Mixing KIM Soo-duk | Recording JUNG Il-gwon | Color Grading HONG Su-dong | Cast CHOI Won-kyun, LEE Sam-soon  
監督・脚本・編集:イ・チュンニョル 製作:スタジオ・ヌリムボ プロデューサー:コー・ヨンジェ 出演:チェ・ウォンギョン、イ・サムスン 2008年/韓国映画/78分 HD→35mm/1:1.85 カラー/ドルビーステレオ/原題:ウオナンソリ(牛鈴の音)/英語題:Old Partner  
www.cine.co.jp/ushinosuzoetof/ ©2008 STUDIO NURIMBO World Distribution:INDIESTORY INC. 宣伝:ムウイオラ 協力:TimeStoryFilm&Books、デジタルアクト、カウベル DIGITALACT 配給:スターサンス、シグロ



# 15年の寿命と言われる牛が40年も生きたのは奇跡なのだろうか。 チェ爺さんの耳にいまも牛の鈴音がやさしく響く。

79歳になる農夫のチェ爺さんには、30年間も共に働いてきた牛がいる。牛の寿命は15年ほどなのに、この牛は40年も生きている。今では誰もが耕作機械を使うのに、頑固なお爺さんは牛と働き、牛が食べる草のために畑に農業をまくこともしない。そんなお爺さんに長年連れ添ってきたお婆さんは不平不満が付きない。しかし、ある日、かかりつけの獣医が「この牛は今年の冬を越すことはできないだろう」と告げる……。

## 「ないこと」、「遅いこと」が、こんなにも美しく温かい。

老いた農夫と一頭の牛の暮らしを見つめた本作は、主人公のお爺さんの農業のように、「ない」ものが多い。ドキュメンタリーの定番であるナレーションがない。大きな事件もおこらない。政治的メッセージもない。スクリーンに映るのは、韓国の田舎の美しい四季、無愛想で頑固な老人、口喧しいお婆さん、山のような薪を背負い働く老いた牛。すべては、よろよろとした足取りで荷車をひく老いぼれ牛の動きのように、ゆっくりとしている。それは、忘れてしまった温かいものたち。「ないこと」「遅いこと」は「牛の鈴音」を特別なものとし、きっとあなたの胸にも響く。

## “この映画を見て泣かない人はいない”と地元紙が伝え 「牛の鈴症候群」と呼ばれる社会現象になった傑作ドキュメンタリー!

- スター主義の韓国でドキュメンタリーがヒットするのは異例中の異例。たった7館でスタートし、口コミが広がり公開37日目に動員100万人を達成すると、わずか9日後に200万人突破。最終的には累計約300万人。これまでのドキュメンタリー最高記録が『華氏911』（マイケル・ムーア監督）の45万人なので、まさに驚異的。
- 動員数を韓国の人口で計算するとおよそ15人に1人。これは日本の人口規模にすると『踊る大捜査線 THE MOVIE』（700万人）、『ロード・オブ・ザ・リング』（670万人）の動員を上回る。
- 史上初の公開7-8週目の2週連続興行成績ベスト1。大手メジャー作品を抑えてドキュメンタリーが1位になったのも史上初。
- なぜこれほどの大ヒットになったのかとさらなる話題を呼び、テレビ、新聞、さらには経済誌までが大特集して「牛の鈴症候群」と呼ばれる社会現象に。

第13回ブザン国際映画祭 最優秀ドキュメンタリー賞  
 第34回ソウル インディペンデント映画祭 観客賞  
 第16回カナダ ネットドックス 国際ドキュメンタリー映画祭 アーティスト賞  
 第7回シルバードックス・ドキュメンタリー映画祭 シネマティックビジョン賞  
 2009年サンダンス映画祭 ワールドドキュメンタリー部門 正式出品  
 第45回 韓国百想藝術大賞 新人監督賞

**牛の鈴音** イ・チュンニョル 監督作品  
 うしのすずおと 題字:菅原文太  
 〈俳優・菅原文太さんは、2009年10月に山梨県北杜市に農業生産法人を設立。いまや農業者としての活動も期待されている。〉  
 監督/脚本/編集:イ・チュンニョル 製作:スタジオ・ヌリボ プロデューサー:コー・ヨンジュ 撮影:チ・ジェウ 音楽:ホ・フン、ミン・ソユン 出演:チェ・ウォンギョン、イ・サムスン  
 2008年/韓国映画/78分 HD→35mm / 1:1.85 / カラー /ドルビーステレオ/ 原題:ウオナンソリ(牛鈴の音) / 英語題:Old Partner ©2008 STUDIO NURIMBO World Distribution:INDIESTORY INC.  
 宣伝:ムヴィオラ 協力:TimeStoryFilm&Books、デジタルアクト、カウベル DIGITALACT 配給:スターサンズ、シグロ



# 12月 ロードショー

特別鑑賞券 ¥1,300(税込) 当日一般 ¥1,800(税込)のところ  
 ★シネマライズ、銀座シネパトスの各劇場窓口にてお買い求めの方には携帯クリーナー付「牛の鈴音」ぶさかわストラップ(右)をもれなく進呈いたします!  
 ※新宿バルト9での取り扱いに関しましては、劇場に直接お問い合わせください。

<p>渋谷公園通り バルコバート3前</p> <p><b>シネマライズ</b></p> <p>03(3464)0051 www.cinemarise.com 全席指定・定員入替制</p>	<p>銀座三越先 歌舞伎座手前</p> <p><b>銀座シネパトス</b></p> <p>03(3561)4660 www.humax-cinema.co.jp</p>	<p>新宿3丁目駅C4出口前 マルイアネックス9F</p> <p><b>新宿バルト9</b></p> <p>03(5369)4955 www.wald9.com 全席指定・定員入替制</p>
---	--	---

